

シロテナガザルの桃太郎（西村）

今年は申年。ということで、福知山動物園へシロテナガザルの「桃太郎」（志村けんのテレビ番組で紹介）に初めて会いに行ってきました。窓口で入園料（210円）を払う時に一緒に写真を撮りたいと言うと、携帯電話で園長さん呼び出し、すぐに記念撮影となりました。腕の中の「桃太郎」は撮影中の数分間は微動だもせず、まるでぬいぐるみのようでした。来園者が腕に抱いたまま記念写真を撮れる動物園は全国でも珍しく、昨秋は年賀状用に遠方から訪れる人が相次いだそうです。桃の節句3月3日が誕生日の「桃太郎」は、もうすぐ2歳。春頃には来園者が抱っこするのも難しくなるかも？とのことです。



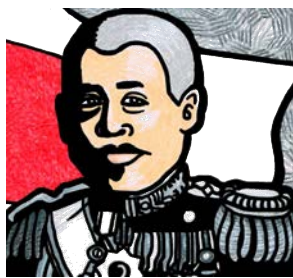
今さら聞けない 経済用語

【今月の教えてキーワード：外形標準課税】

事業所の床面積や従業員数、資本金などといった客観的な判断基準をもとに税額を算定する課税方式のこと。法人事業税は所得に応じて税額が決まるため大企業であっても赤字ならば課税されない。しかし、企業が行政サービスを受けて事業を営む以上、黒字か赤字かに関係なく費用を平等に負担すべきという指摘に応じて生まれた制度。税収の安定をもたらすメリットがあり、法人税率を引き下げる議論の中でもポイントとなっている。

偉大なる日本の100人に学ぶ 人の心を魅了する生き方。

【悲劇の名将：山本五十六】



「やってみせ、言って聞かせて、させてみて、ほめてやらねば、人は動かじ。話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず。やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず」は、1884年に旧長岡藩士・高野家の六男として現在の新潟県長岡市に生まれた山本五十六の言葉です。「育英こそ百年の大計」という考えにより早くから奨学金制度が整っていた長岡で、海軍兵学校に進み海軍軍人としての道を歩みます。日露戦争では、日本海軍がバルチック艦隊を撃破した日本海海戦に少尉候補生として参戦。この日露戦争での勝利以降、急速に帝国主義に傾いていった日本は、昭和に入ると中国などを巡りアメリカとの対立が深まります。海外赴任でアメリカの実力を知っていた五十六は、戦争に向かおうとする日本軍の中で最後まで対米開戦に反対しました。しかし、結果的に太平洋戦争の口火を切ることになる真珠湾攻撃を立案し実行します。さらに、事前に宣戦布告するはずが大使館の不手際で奇襲攻撃と判断されてしまうという悲運にも遭遇します。望まぬ戦争でありながら連合艦隊司令長官として指揮する身となった五十六自身も、米軍の撃墜により非業の死を遂げます。「人は神ではない。誤りをするというところに人間味がある」との言葉も残した五十六の目には、今の世界はどう映るのでしょうか。

今を生きる

先人の言葉

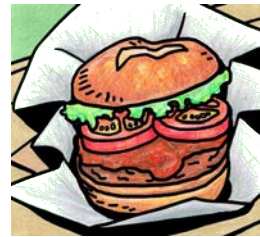
私たちが燃料をすれば
お客様はゆずりです

俳優である森繁久彌の言葉。ステージ上の熱演を駆り立てるのは観客の反応というわけだが、同様に、企業の成長のためにはお客様の「追い風」が必要不可欠となる。

トレンドを斬る!

おいしさを追求するハンバーガーチェーンが脚光を浴びています。安さがウリの従来のものとは異なり、上質な肉や新鮮な野菜

を具材にできたてを提供する新興バーガーは1000円近くと高価格ですが、味の良さや健康志向からきちんとした食事として客足が伸びています。本場アメリカからの参入も多く、中でも昨年に日本初上陸した『シェイクシャック』はおしゃれなイメージ戦略で第二のスターバックスと目されています。低迷するハンバーガー業界の今後に注目です。



365日が楽しくてたまらない! 「商売のヒント」

今月の商売のヒント: 【「良いことをすると良いことがある」という当たり前の話】

先日、こんな話を耳にしました。主人公はあるタクシーの運転手。バドミントンと掃除とバイクが好きだという五十代の男性のAさんです。



Aさんの休日は掃除から始まります。午前中いっぱいかけて家の中を徹底的に磨き上げるそうですが、特にトイレ掃除は気合いが入るとか。設備会社で働いていた経験をいかし、便座は外して風呂場で水洗い。極めつけは便器の縁に小さな鏡を当て、見えないところの小さな汚れまでひとつ残らずきれいにするそうです。「トイレをピカピカにすると運が良くなると言いますが、どうですか?」と尋ねられると、「トイレ掃除をした次の日はたしかにお客様が多いですね」とのこと。

他の運転手が2時間以上も粘ったのに撃沈したタクシー乗り場にAさんが入れ替わりで行くと、5分もしないうちにお客様が乗り込んで来て、しかもかなりの遠距離へ。そんなことが珍しくないそうです。

掃除が終わったら午後はバドミントンの時間。Aさんは30年のキャリアと実力の持ち主で、仲間と一緒に夜遅くまで汗を流します。「休みの日に朝から丁寧に掃除して、みんなでバドミントンして、たまにバイクにも乗って、これが私の最高の楽しみなんです。人生は一度だけだから一日一日を大切に過ごさないとね。」Aさんは、小さい頃に祖母から言われた「一日一善」を今でも心掛けているそうです。「良いことをすると良いことがあるんだよ。神様は見ているんだねえ。不誠実なことはできないよ。」

考え方が人生をつくっていくと言ったのは京セラ創業者の稲盛和夫氏です。

人生や仕事の結果は「考え方×熱意×能力」だから、どんなに熱意や能力が高くても考え方がマイナスだと結果はマイナスになってしまうというわけです。経営者として自分の熱意や能力を存分にいかせる考え方をしているだろうか。お客様に喜んでいただけるよう誠実に良い仕事を追いかけているだろうか。Aさんのことを思い出しながら、ふと自問自答する今日この頃です。



トナリの

本棚



【満願】

2014年の日本ミステリー小説界の話題をさらった6編からなる短編集。表題作は司法試験に見事、学生で合格した主人公が初めて扱う殺人事件の話。下宿先の女将は本当に殺人を犯したのか? 読み始めると一気読み必至は間違いなし!

船越税理士事務所

〒620-0054

京都府福知山市末広町1-1-1 中川ビル3階

TEL:0773-22-3708 FAX:0773-22-7343

<http://www.f-office301.com>

E-mail: info@f-office301.com

皆様のご感想をお待ちしております◎◎◎◎◎◎